

- 問1 ある港の貿易統計において、輸出総額よりも輸入総額の方が圧倒的に多く、主な輸入品目として衣服やコンピュータなどが上位を占めている理由として、最も適切な説明を次のうちから選びなさい。(2018年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 背後に大規模な消費地を抱えており、海外で生産された生活関連の製品を多く運び込む必要があるため | 2. 周辺に石油化学コンビナートが集まり、輸入した原油を加工して工業製品として輸出する拠点となっているため | 3. 内陸部に広大な工業団地があり、そこで生産された自動車をはじめ輸出する役割を担っているため | 4. 周辺に国際空港があり、電子部品などの小型で軽量の付加価値商品が航空機で輸出入するため |
|---|---|---|---|
- 問2 ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。(2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-------------|-----------|------------|
| 1. 等高線が示す標高の値 | 2. 市街地の人口密度 | 3. 道路の舗装率 | 4. 河川の流域面積 |
|---------------|-------------|-----------|------------|
- 問3 ある工業地域の出荷額の割合を示した統計資料によると、機械工業が約四十五パーセントと最も大きな割合を占め、次いで食品が約十五パーセント、金属が約十四パーセント、化学が約十パーセントとなっています。このように機械工業を中心に多種多様な工業が混在し、内陸部に多くの工場が進出している背景として、最も重要な要因は何ですか。(2022年 山口公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと | 2. 掘込港湾の建設により、大型の貨物船による原材料の輸入が容易になったこと | 3. 冷涼な気候を活かして、精密機械の組み立てに必要な環境が整ったこと | 4. 近隣に大規模な油田があり、石油化学工業の原料を安価に調達できたこと |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問4 茨城県や千葉県、群馬県などの関東地方の各県で行われている農業は、東京都という巨大な消費地に隣接または近接している利点を活かしています。この地域で行われる農業が、遠方の産地と比較して経営面で有利であるとされる主な理由として、最も適切な説明はどれか。(2026年 福島公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。 | 2. ビニールハウスや温室などの施設を利用することで、自然の条件よりも早い時期に収穫し、品薄な時期に高値で販売できる点。 | 3. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かして、他の産地の出荷が終わった夏から秋にかけて野菜を出荷できる点。 | 4. 広大な土地を利用して、機械化で大規模に進めることで、小麦や大豆などの穀物を低コストで大量に生産できる点。 |
|--|--|--|---|
- 問5 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。(2023年 山口公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。 | 2. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。 | 3. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。 | 4. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。 |
|---|---|--|--|
- 問6 人口統計において、夜間人口を100とした場合の昼間人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。つくば市のように、昼間人口が夜間人口を上回っている(比率が100を超える)状況を示す統計上の説明として正しいものはどれですか。(2021年 静岡公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------------|-----------------|
| 1. 昼間人口 > 夜間人口 | 2. 夜間人口 > 昼間人口 | 3. ドーナツ化現象による中心部の空洞化 | 4. 過疎化による若年層の流出 |
|----------------|----------------|----------------------|-----------------|
- 問7 神奈川県は日本でも有数の製造品出荷額を誇りますが、その工業的特色を支える京浜工業地帯の成り立ちや構造について、最も適切な説明を選びなさい。(2026年 和歌山公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 東京湾沿岸の良好な港湾環境を活かして埋め立てが進められ、製鉄所や石油化学コンビナート、自動車工場などの重化学工業が発展した。 | 2. 内陸部の広大な平野部を活用し、周辺の農村から供給される農作物を原料とした食品加工や繊維工業などの軽工業が中心となっている。 | 3. 都心の消費地に近い利点を活かし、住宅街の中に小規模な町工場が密集して、衣類や日用雑貨などの生活用品を主に生産している。 | 4. 県内で産出される石灰や鉄鉱石などの豊富な地下資源を背景に、明治時代から官営模範工場を中心とした重工業化が進められた。 |
|---|--|--|---|
- 問8 東京都の南に位置し、相模湾に面するある県について述べた文として、統計上の特徴と合致する名称を選択してください。この県は京浜工業地帯の中核をなし、製造品出荷額等が極めて高い規模を誇る一方、水稻の作付面積はわずか0.3万ヘクタールと少なく、就業者数の約78パーセントをサービス業などの第3次産業が占めています。(2022年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 神奈川県 | 2. 北海道 | 3. 沖縄県 | 4. 岩手県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問9 栃木県・群馬県・茨城県を中心とする北関東の工業地域において、1960年代には内陸部に点在していた工場の分布が、近年では特定の交通網に沿って集中するように変化しています。この地域で新しく工場や物流拠点が建設されている場所の特徴として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 高速道路のインターチェンジ周辺 | 2. 大型貨物船が停泊できる港湾の付近 | 3. 貨物列車の積み込みを行う鉄道駅の周辺 | 4. 広大な農地を確保しやすい山間部の急斜面 |
|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------------|
- 問10 北関東工業地域に属する栃木県の工業について、製造品出荷額の構成における特徴を述べた文として、正しいものはどれか。(2022年 兵庫公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 輸送用機械器具と並んで、電気機械器具の出荷額の割合が高い。 | 2. 石油化学工業と鉄鋼業が、県全体の出荷額の過半数を占めている。 | 3. 東京湾沿いの立地を活かした、原油の精製や化学製品の製造が中心である。 | 4. 伝統的な繊維工業が現在も最も盛んであり、機械工業の割合は低い。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 日本の近代化や文化の伝来について述べた次の記述のうち、パリーの来航地である浦賀や、開港場となった横浜を擁する都道府県に該当する説明として最も適切なものを選びなさい。(2016年 山口公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 1870年代に野球などの西洋文化がいち早く伝えられた地であり、県内には現在も日本を代表する貿易港である横浜港が位置している。 | 2. 1915年に豊中市で最初の全国中等学校優勝野球大会が開催されるなど、古くからスポーツが盛んで全国最多の優勝回数を誇る府県である。 | 3. 正岡子規が野球用語を日本語に翻訳した地として知られ、幕末にはパリーが来航したものの開港は拒否し続けた歴史を持つ。 | 4. 明治以降の日本の主力輸出商品であった生糸の生産地として知られ、横浜港へ生糸を送り出す鉄道網が最初に整備された内陸の県である。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 背後に大規模な消費地を抱えており、海外で生産された生活関連の製品を多く運び込む必要があるため	東京港のように、輸出額よりも輸入額が極めて多い港は、その背後に人口が密集する大規模な消費地が存在するという背景があります。衣服やコンピュータ、魚介類などは都市部で暮らす人々の生活に直結する「消費財」であり、それらを海外から効率よく取り込むための玄関口としての役割を果たしているため、輸入超過の傾向が強くなります。
問2	答え 1 等高線が示す標高の値	断面図は、特定の地点間の地形の起伏（高さの変化）を視覚的に捉えるための図です。そのため、地形図上で標高の等しい地点を結んだ「等高線」を基準にして、各地点の標高をプロットしていく作業が不可欠となります。人口密度や道路の状況、流域面積などは土地利用や人文的な情報であり、地形そのものの起伏を示す断面図の作成に直接は関係しません。
問3	答え 1 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと	北関東工業地域は、東北自動車道や関越自動車道、北関東自動車道などの高速道路網が整備されたことで、内陸部であっても製品を効率よく市場へ運べるようになったため発展しました。これにより、広い用地を必要とする機械工場や、原料の配送が重要な食品工場などが内陸部へ進出する「内陸型工業」の形が定着しました。
問4	答え 1 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。	近郊農業の最大のメリットは「輸送コストの低減」と「鮮度の維持」です。宮崎県や高知県で行われる促成栽培や、長野県などの高冷地で行われる抑制栽培は、時期をずらすことで高値を狙いますが、近郊農業は市場への近さを武器に、物流の効率性と新鮮さで競争力を確保しています。
問5	答え 1 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。	千葉県や茨城県などの関東地方では、巨大な消費地である東京に隣接しているという地理的条件を活かした「近郊農業」が発展しています。キャベツのように重量があり、鮮度が求められる野菜は、輸送距離が短い近郊地域からの出荷が有利になります。そのため、東京都中央卸売市場の出荷量統計においても、関東地方の占める割合が約4割という高い水準になっています。
問6	答え 1 昼間人口 > 夜間人口	昼間人口は「夜間人口 + 流入人口 - 流出人口」で計算されます。つくば市の場合は、研究機関や大学への通勤・通学による流入人口が、他市町村へ働きに出る流出人口を上回っているため、昼間人口の方が大きくなります。これに対し、住宅が密集する周辺のベッドタウンでは、昼間に人が都心へ流出するため、夜間人口の方が多くなるのが一般的です。
問7	答え 1 東京湾沿岸の良好な港湾環境を活かして埋め立てが進められ、製鉄所や石油化学コンビナート、自動車工場などの重化学工業が発展した。	神奈川県の高い製造品出荷額は、京浜工業地帯の重化学工業によって支えられています。東京湾の波が穏やかで水深が深いという地形的利点を活かし、原材料の輸入や製品の輸出に便利な臨海部へ大規模な工場が集積しました。現在では加工組立型の自動車工業などの割合も高く、東京都から続く情報通信業の発展も相まって、多角的な産業構造を持っています。
問8	答え 1 神奈川県	東京都に隣接する神奈川県は、横浜市や川崎市といった工業都市を抱え、京浜工業地帯の重要な拠点として高い製造品出荷額等を維持しています。その一方で、急速な都市化の影響により農業用地は極めて限定的となり、膨大な人口を背景とした商業やサービス業、情報通信業などの第3次産業が産業構造の大部分を占めているのが大きな特徴です。
問9	答え 1 高速道路のインターチェンジ周辺	自動車輸送の重要性が高まったことで、トラックによる原材料の搬入や製品の出荷をよりスムーズに行う必要が生じました。北関東では東北自動車道や関越自動車道などの高速道路網が整備されたため、移動時間を短縮し輸送の効率性を高めることができるインターチェンジ付近に工場や物流センターが密集するようになりました。
問10	答え 1 輸送用機械器具と並んで、電気機械器具の出荷額の割合が高い。	栃木県は茨城県、群馬県とともに北関東工業地域を形成しています。かつては繊維工業が盛んでしたが、現在は東北自動車道などの高速道路網の整備を背景に、内陸型の機械工業が発展しています。特に、自動車などの輸送用機械器具と、テレビやエアコンなどの電気機械器具の製造が県の主要な産業となっており、これら2つの部門が高い割合を占めるのが特徴です。
問11	答え 1 1870年代に野球などの西洋文化がいち早く伝えられた地であり、県内には現在も日本を代表する貿易港である横浜港が位置している。	神奈川県は横浜港を通じて西洋の新しい技術や文化が流入する玄関口となりました。野球も1870年代に横浜の外国人居留地などを通じて伝えられたといわれています。選択肢にある最初の全国大会開催や最多優勝回数の記述は大阪府に関するものであり、生糸の生産地としての内陸県は群馬県などを指します。神奈川県は、バリー来航から貿易港の発展に至るまで、一貫して日本の開国プロセスの中心地でした。